



# 図書館ニュース

発行 古川高校図書館  
令和2年度 5月号

※著作権法に則り、一部画像を省略しております。  
ご了承ください。

## 特集!

### 先生方のおすすめ本

家で過ごす時間が多くなった皆さんに向けて、先生方がおすすめ本をご紹介します。  
何を読むか迷ったら「この1冊」をどうぞ!

#### テーマ①

#### じっくりゆっくり読みたい本

##### 『流れる星は生きている』 藤原てい

戦争が終わった日から始まった、ある母親の死闘が書かれた本です。数学者「藤原正彦」の母である著者が、幼子3人をかかえて引き揚げて来た実話です。【小齋 麻子】

表紙

##### 『飛ぶ教室』 エーリッヒ・ケストナー/著

ドイツの寄宿舎に住む高等中学生のお話。派手な話じゃないけど、友情や大人には言えない秘密などみんなが1度は経験しそうな、心温まる学生生活の物語。【三浦 美信】

表紙

##### 『ぐっちゃんさんが遺した日本経済への最終提言177』 山口正洋(ぐっちゃん)/著

最近、ぐっちゃんさんのコラム AERA に載っていないなあと思ったら、2019年9月に急逝しておりました。ぐっちゃんさんは経済評論家で、AERAの人気コラム「ぐっちゃんさんのここだけの話」の執筆者でした。この本には16年3月7日号から絶筆までの177回が収録されています。池上彰氏、新井紀子氏からの「おくる言葉」も。

経済・地方自治に興味がある人は是非。。【佐藤 聡】

表紙

##### 『一九八四年』 ジョージ・オーウェル/著 高橋和久/訳

一党独裁国家による監視社会の中、歴史の改ざんを仕事にする主人公が反政府活動を密かに行っていくという物語。小説でありながらリアルのように感じる独裁国家の思想や市民の監視の仕方に恐ろしさを感じるとともに、ありえないと言い切れないものがあります。【加藤 孝明】

表紙

『それから』 夏目漱石/著 ・ 『友情』 武者小路実篤/著

『ころ』の第3部を読んでもやもやした人たち。『それから』は、「私が友人に自分の恋を譲ってから3年後の話」です。『ころ』の「私」とは異なる選択をした「私」はどうなっているのか。

『友情』は漱石の『ころ』を読んで「男の友情はこんなものじゃないと反発して書いたと言われる作品。ちなみに私はこの「杉子」が嫌いです。【千葉 由紀】

表紙

『クジラアタマの王様』 伊坂幸太郎/著

めんどくさくならずじっくり時間をかけて読んで下さい。ホントにすごい。

今、読むべきです。【ヒロブミ先生】

表紙

表紙

『体の贈り物』 レベッカ・ブラウン/著 柴田元幸/訳

何げない営みが失われていく。ホームケア・ワーカーの視点から描く熱い共感と静謐な感動を呼ぶ連作小説。等身大のアメリカの現実に触れることができます。【後藤 嘉宏】

『20歳のときに知っておきたかったこと』 ティナ・シーリング/著

3年生のコミュニケーション英語Ⅲの教科書に入っています。

(東大クイズ王 水上颯さんのオススメ本!) 【尾形 広道】

表紙

『停電の夜に』 ジュンパ・ラヒリ/著 小川高義/訳

5月14日の朝日新聞「天声人語」に、ジュンパ・ラヒリの『停電の夜に』という文字を見つけた。関係の冷え切った夫婦が、工事による停電の1時間を数日過ごす。普段は別室で食事をとる二人が、ろうそくをはさみ食卓をともにする。そこで語られるお互いの知らなかったこと—知られなかったことや、本当は語らずとも知って欲しかったこと—に、じりじり苛立ったことをふと思い出した。この本と出会ったとき私は若かったのだ。

大切にしたいもの、そして大切な人、その人と過ごす大切な時間…と「天声人語」は「天声人語」的にまとめていた。しかし私は、なぜだろう、それが着地点ではないと思うのだ。何と言おうか、「自分との闘い」の物語であると、年を重ねた今、思う。【武田 和恵】

表紙

『思考の整理学』 外山滋比古/著

どの部分から読んでも面白いです。グライダー人間ではなく、飛行機人間になりましょう。

【高橋 波子】

表紙

『超訳 ニーチェの言葉』 フリードリヒ・ニーチェ/著 白取春彦/訳

抜粋です。『心にはいつも喜びを』 利口であれ。そして心に喜びを抱け。できるならば、賢明でもあれ。そして心には、いつも喜びを抱いているように。これが人生で最も大切なことなのだから。【水上 智子】

表紙

『ペスト』 カミュ/著 宮崎嶺雄/訳

ノーベル文学賞を受賞したカミュの代表作の一つ。

中世ヨーロッパで人口の3割以上を死に至らしめた伝染病のペストが、ある町を襲う。町は閉鎖され、人々はパニックに陥るも、必死に「悪」と闘う姿が描かれている。小説の設定が、現在のコロナ禍の状況と重なるところがあり、今だからこそ、より深く考えさせられることもあるはず。我々に起こる「不条理」をどのように受け止め、闘っていくのが正解なのか。【Y】

表紙

## テーマ②

# 読書を楽しもう！

### 『リウーを待ちながら』 朱戸アオ/著

カミュの『ペスト』を現代日本に置き換えたマンガ。新型ペストで病院に患者があふれ、首相の緊急事態宣言、都市の封鎖、デマが流れ差別が起こります。でもこれ 2017 年のマンガです。

【木浪 明倫】

表紙

### 『米の日本史—稲作伝来、軍事物資から和食文化まで』

佐藤洋一郎/著（中公新書）

いかにも日本史ネタであることが明白ですが、生物学の要素も結構含まれているため、理系の人も十分に楽しめる内容です。ただし受験勉強の足しになる可能性は低そうです。悪しからず！ 【ペンネーム「私が誰かを当てて下さい！」】

表紙

### 『祈りの幕が下りる時』 東野圭吾/著

加賀恭一郎シリーズの最終作です。親子愛にうろっとしてしまいますが、ストーリー展開も素晴らしいおすすめの一冊です。合わせて『新参者』『麒麟の翼』もおすすめです。

【菊池 圭一】

表紙

### 『世界一親切な大好き！家おやつ』 藤原美樹/著

にんじんケーキを作ってみました。説明の通りに作ると、本当に、簡単においしく作ることができます。おうち時間でお菓子作り、いかがですか？

【千葉 真帆】

表紙

### 『伊勢物語』『宇治拾遺物語』『徒然草』など…

ビギナーズ・クラシックス 日本の古典(角川ソフィア文庫)

「苦手科目は『古文』です。」「『古文』は難しすぎる…。」そんな、古文と悪戦苦闘する高校生におススメなのが『ビギナーズ・クラシックス 日本の古典』シリーズ。授業では部分的にしか覗けない古文の世界を、文法などをひとまず忘れて、平易な現代語で楽しんでみてはいかがでしょう。古文の世界が身近に感じられ、そこに生きる人々やストーリーに親しみが持てます。【Y】

表紙

### 『舟を編む』 三浦しをん/著

読みやすくて、ほっこり心が温まる本でした。【佐山 桐子】

表紙

### 『鹿の王』 上橋菜穂子/著

読み始めるとぐんぐん引き込まれます。謎の感染症により運命を大きく変えられたヴァン。昔、王国を滅ぼした病の謎を追う若き医者ホッサル。征服する者とされる者、ウイルスと人間…様々なことを考えながら、今一番読み直したいと思っている小説です。【千坂 民美】

表紙

紹介した本は館内で展示・貸出中！ ※一部注文中の本もあります。

# NEWS

## 小野洋一郎氏(マンガ家)から 最新作が寄贈されました!



サイン入りです!

本校卒業生で、マンガ家として活躍されている小野洋一郎さんが5月12日に来校されました。後輩のみなさんの「読書のきっかけになれば」と読書をテーマとした最新作をご寄贈くださいました。本は図書館内に展示しています。どうぞ手に取ってご覧ください。



『マンガでわかる東大読書』 西岡壱誠/原案 小野洋一郎/著

「たった1冊の本で人生が変わることがある」それなのに本を読まないのはもったいない。現役東大生が書いた「本の読み方」を、物語で伝授。読書のコツを魅力あふれるキャラクター達が教えてくれます。

### 新型コロナ 対策

## お知らせ

### 図書館からの

## 図書館の“取り置きサービス”しています。

館内での密集をさけるため、下記の2つの方法で本をご準備します。  
お気軽にご利用ください。

- 古川高校ホームページ「質問・要望入力フォーム」で図書館を予約する。
- 登校日の朝にカウンターで予約する。

\*登校日の放課後までに司書が本を準備します。

\*希望の本が図書館に入っているかどうかわからなくても大丈夫です。

お調べて、所蔵の有無も来館時にお伝えします。

\*例えば「看護の本」といったテーマ単位でも受け付けます。

該当本を数冊準備しておきます。

\*学校再開後もしばらく継続実施します。

